

多治見市立南姫小学校で防災講座を行いました

令和7年10月27日（月）、多治見市立南姫小学校で4年生31名に防災講座を行いました。学校の近くには姫川が流れ、学校周辺の山は土砂災害警戒区域に指定されています。4年生は総合で水害について学んでいるそうです。

講座では、多治見市でも被害のあった伊勢湾台風や東海豪雨、平成23年の台風15号など過去の水害について学習しました。多くの児童が地域で発生した水害を知っており、ハザードマップで自宅の浸水深も確認しているなど、防災意識の高さが伺えました。

その後、グループワークで、伊勢湾台風A1語り部との対話・防災クイズ体験を行いました。対話体験では、「岐阜県ではどんな被害がありましたか？」「1時間に何ミリくらいの雨が降りましたか？」などと質問をし、防災クイズ体験では、グループ内で意見を出しながら話し合い、A1を通して伊勢湾台風や避難用品などについての理解を深めました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。なお、講座の様子は中日新聞に取材頂きました。

